



西本願寺

山口
教区

御同朋の社会をめざして

わら
笑っている人も、^な泣いている人も、
かがや
輝いている人も、^へすり減っている人も、
げんき
元気な人も、^{つか}疲れている人も、

み～んなお寺でひと休み。



若い頃より本気で聴ける

八十代 女性

お寺参りはもう数十年、結婚間もない頃から続けています、昔はつれあいと一緒に下駄の音を響かせながら法座へお参りしていました。

若い頃より今の方が仏さまの教えを本気で聴けるようになったというか、歳とともに同じ話が昔と違って味わえるようになりました。お寺は、ありのままで心が落ち着く場所です。



仕事に疲れて寝っ転がる

二十代 男性

青年会でお寺によく行きます。集まるのは夜。色々な職業の人と他愛もない話をするのが楽しい。本堂は畳だから仕事で疲れていてもすぐに寝っ転がれるし。なんか自分の居場所があるって感じですよ(笑)。

お寺のお手伝いも楽しいですよ。日曜学校で子どもと遊んだり。大晦日にお寺の石段を照らす竹灯籠を作ったり。明かりを灯すと綺麗です。それがまた嬉しいですね。

みなさんにお話を聞きました。

子どもは大切な預かりもの

四十代 女性

私たちには二人の子どもがいます。縁あって私たちのところに生まれてきてくれたと受けとっています。私の子ではなく、子どもは大切な預かりものです。「仏の子どもを育てます」という言葉があります。今、仮にお預かりしている子どもをしつかり育てていく責任が親にはあるのです。そんな子育てを通して、親自身が育てられているという幸せをめぐまれました。本当に有り難いことです。

娘の入学の報告に家族でお参りしました。お寺はうれしい時にもお参りするところ。いろいろな方とふれあい、いろいろなことも学ぶことができる、お寺は楽しいところです。



妻にひかれて寺参り

六十代 男性

教育の仕事をしていましたので、道徳や人の生き方の学習について、仏教への関心を深めていました。そのような中で、牛ではなく妻に引かれてお寺さんでのお聴聞のご縁をいただきました。

法話は具体的な事例を通して、ものごとの捉え方や真理の教え、また智慧をいただきますので、これまで理解できなかったことも納得できますし、人との関わり方についても気付かされます。まことにありがたいことです。これからお聴聞を重ねながら、真実に気付いていきたいと思っています。

人が成長していくには環境は大切です。宗教的情操は道徳の基盤ですが、荘厳な本堂の中で、仏さまに抱かれるゆつたりとした気持ちの中で、集中しながら法話を聴くなど、仏教にふれることが何より大事だと思います。

小さい頃からそのような機会が多くあることが望ましく、お寺さんも地域に対してより一層オープンになって欲しいと思います。皆さんも子どもさんと一緒にお寺さんに掛けましょう。



自分の姿が写し出される

六十代 女性

いろんな会合に参加しますが、それぞれが自己主張をして何かこう独特の雰囲気になることがあります。まとまらなかつたりいやな思いをすることもあります。しかしお寺では自然に言葉がひかえめになり、お互いを許し、許されているような場になります。他を思いやり、譲り合い、尊重することがみられ、物事が円満に運ぶことが多いように思います。ゆつたりした時間が流れ、お寺が安心できて居心地がよいのはそのためかも知れません。

最近お寺に行つて思うのは、お寺は自分の姿が写し出される場所、自分を修正できてリフレッシュできるところだということです。無理なのでしょうが、我執が捨てられそうな気がする、瞬間ですがこんなことを感じます。一瞬でもそんなことを思うことができるのはうれしいことです。

いつもではありませんが、適当に慚愧の心がはたらいっていつしかよるこびの心に変わってくれることがあります。有り難いと思う時、南無阿彌陀仏のお念仏がこぼれることが多くなりました。

なんだかホッとします。

五十代 女性

私がお寺に参るようになったのは、仏教若婦人会のお世話をさせていただくようになったことと、父が亡くなったことがきっかけでした。また子どもの頃、母が毎日お仏壇の前で「お領解文」をあげていた事を思い出します。お寺参りをさせていただく環境に育てていただいたのですね。

法座でお話を聞き、沈んでいた気持ちがとても楽になったこともありました。難しい理屈はわからないのですが、お寺に座つてるとなんだかホッとします。孫たちにも手を合わせることに出来る人に育ってほしいと思います。

